

岡部陣屋跡(深谷市) 築城年代:宝永2年(1705)、築城者:安部信峯

この辺りが岡部陣屋跡(埼玉県指定旧跡)とされる/前方に高島秋帆の碑があるという



築城者の安部氏の菩提寺は近くにある源勝院である/源勝院(館跡)については別稿参照のこと



高島秋帆の碑と説明板



「現在地は、当時の岡部落陣屋の一角であり」と記されている

## 高島秋帆幽囚の地

高島秋帆は、寛政一〇（一七九八）年、長崎の町年寄の家に生まれる。名は茂敦しげあつといい、通称は四郎太夫しろうたけう、秋帆は号である。父の跡を継ぎ、町年寄をつとめたが、傍らに広く蘭学を収め、特にオランダ人を通じ、砲術を研究し、西洋式の高島流砲術を創始した。天保年間、欧米のアジア進出の危機に備えて、砲術の改革を幕府に進言した。天保十二（一八四一）年、秋帆四十四歳のとき、幕府の命により、江戸近郊の徳丸ヶ原とくまがはらで西洋式の訓練を実施し、西洋式の兵術、砲術を紹介した。

その結果、幕府は幕臣にも西洋式の兵術、砲術を学ばせることとなり、伊豆いず・葦山あしやまの代官、江川太郎左衛門えがわたらうざえもんをはじめ、多くの幕臣が彼のもとに入門した。しかし翌十三（一八四二）年、秋帆は中傷により獄に投ぜられ、弘化三（一八四六）年より許される嘉永六（一八五三）年まで岡部落預かりの身となった。

現在地は、当時の岡部落陣屋の一角であり、この石碑の立つ場所に幽囚されていた。岡部落では客分扱いとし、藩士に兵学を指導したと伝えられている。その後、江川太郎左衛門ら、秋帆の門人たちは幕府に願い赦免しゃめんに尽力、ついに嘉永六（一八五三）年、ペリー来航と共に幕府は近代兵学の必要性から急きよ秋帆を赦免した。

この後、秋帆は幕府に任せ砲術方教授となり、慶応二（一八六六）年、六十九歳で没した。日本の西洋式兵学の先駆者である。

平成三年三月

埼玉県  
岡部町

これは岡部陣屋跡から深谷市内の全昌寺に移築された陣屋の長屋門/境内から見たところ



土壁



全昌寺の脇門として再利用されている



正面が移築された岡部陣屋の長屋門





こちらは同じく深谷市内の民家に移築された通用門





## 参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/128okabe/okabe.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~CN3H-KKC/hiro/okabe.htm>

<http://www.youtube.com/watch?v=ESORa3LUcDc>

[http://castle.slowstandard.com/08kanto/11saitama/post\\_620.html](http://castle.slowstandard.com/08kanto/11saitama/post_620.html)

[http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic\\_rosier/61577193.html](http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/61577193.html)

[http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meijyou/12\\_Saitama/okabe/index.html](http://www5d.biglobe.ne.jp/~hatabo/meijyou/12_Saitama/okabe/index.html)

<http://www.ac.auone-net.jp/~kojyou/okabe-jinya.htm>

<http://nakatsushiro.asablo.jp/blog/2010/11/23/5528886>

<http://www42.tok2.com/home/hakubutukan/musashi/okabej.html>

<http://cmeg.jp/pc/2056>

